

TEL 233 340 000
 FAX 224 313 684
 Email gakko@jpschool.cz

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

～やさしい子ってどんな人～

(3月1日朝会校長講話)

【やさしい子ってどんな人?】今日は、また、やさしい子について話をしましょう。実は今朝も、下の学年の児童の荷物を持ってあげるやさしい子を発見しました。やさしい人というのは、困っている時に助けてくれる人、自分のことを応援してくれる人、つらいときに話を聞いてくれる人です。これは、困っている人を助けるやさしさですね。また、だれのためでもないやさしさがあります。廊下に落ちているごみをそっと拾ってくれる人、だれも見えていないところで働いてくれる人がいます。やさしい人は、自分のためではなく、いつも誰かのために進んで動くことができる人だと思います。



どうしたら、そんな風に他人のために動くことができるのか考えてみましょう。みんなも気付かずに、やさしい子になっている時があると思います。たぶん、やさしい気持ちは、外に向かって心が開かれているときではないでしょうか。自分にではなく、誰かの声や姿に心が開かれている。それは、人の話に耳をしっかりと傾け、きちんと人の行動を見て、いろいろな出来事に対しても感性が開かれているときです。たとえば、あなたの好きな色は何色ですか。では、嫌いな色は何色ですか。たまには嫌いな色の服を着てみる、ノートを買ってみる。その時に、いやな色でも良さもあるなあ、と感じられれば、心は開かれています。いやなことがあっても、そこで心を閉じないで、心を開いて自分から一歩進んでみる。どんなことでも必ず何か新しい発見があります。どの人に対しても、いつも心を開いて、仲がよくても悪くても、よく見てよく聞いてよく感じてあげてください。心がフワッと開かれていると、相手を受け入れられるかもしれません。

＝転入のお知らせ＝
 小学部4年 阿部 さん

【空を見ろ!】でも、やさしい人はつらいこともありますよね。心を開いていると、たまに傷つけられることがあります。そんなときのアドバイスは、「空を見ろ!」です。ちっぽけな悩みは空を見ると不思議と消えていきます。チェコの空は、とっても近いといった人がいます。雲は早く流れ、天気はどんどん変わります。そして、この空は日本や世界まで広がっているんだ、そこにちっぽけな自分を感じるとなぜか不思議と勇気が出てきます。嘘だと思ったなら、つらいとき、うまくいかないときに試してください。空は元気をくれます。

プラハ子ども文庫からのお願い



○プラハ子ども文庫は、日本にルーツを持つ子ども達により絵本や児童書を沢山読む機会をつくりたいと考え活動しています。

◎不要になりました絵本や児童書がございましたら、ご寄付をお願いできれば大変うれしく思います。

○保管スペースが限られていますので、漫画、雑誌、洋書、大人向けの本は基本的には文庫に加えない方針です。3歳程度までの幼児本は赤ちゃん文庫として、チェコ在住の赤ちゃんのいる家庭へ共有本としてまとめて長期貸出ししています。 プラハ子ども文庫一同

★寄付箱を通用口に設置しました。★